

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

## 517

2013年10月6日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax 3806-9246  
x-rajcp@tcn-cat  
v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
x-yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。

## 防災やくらし応援で緊急課題は山積 施策の優先順位見直しを求める

横山区議...  
議会質問から



荒川2丁目複合施設用地(上)  
決算特別委員会の全景(下)



複合施設、タブレットPC配備など見直し  
防災まちづくり、子どもの貧困対策の優先を  
横山区議(下写真)は、決算委員会の締めくくり総括質疑で、命とくらしを守る基礎自治体の役割から施策の優先順位についてただしました。



は、複合施設のは、児童施設部分は、各地域での単独の児童館事業で実施すべきです。例えば、旧町屋

複合施設は図書館中心に  
児童施設は各地域で充実を  
荒川2丁目の複合施設建設費は、当初50億円といわれていたが、実施設計段階で規模も拡大し、総事業費も膨れあがることと予測されます。

ひろば館など既存施設を活用して、児童館事業を各地域で拡充し、子どもたちの遊びから学びまで担える「居場所」を広げたいことを求めました。

大地震による建物全壊を防ぐ  
住宅の簡易耐震・不燃化に補助を

防災対策では、一人の犠牲者も出さない取り組みに思い切った人金を投入する決断を求めました。  
短期的に、家屋の全壊を回避し命を守り、火災を防止するため、すぐに建て替えも住み替えもできない住宅、未接道住宅も含め簡易耐震、簡易不燃化の事業を実施すべきです。

タブレットPC導入方法の見直しと  
母子家庭などへの経済的支援を  
子どもの貧困問題の取り組みでは、学習支援事業など新たな施策もありましたが、十分ではありません。区は、多額の経費を必要とするタブレットパソコン導入を「貧困と格差解消」の手段と述べましたが、優先順位が違います。導入方法も含めて見直すことが必要です。  
母子家庭への支援、小中の教材教具の公費負担拡大などの検討を求めました。

10月から値上げラッシュ...消費税増税なら家計に大打撃  
8月の消費者物価指数は1年前と比べ0.8%上昇。一方、基本給は14カ月連続で減り、社会保障の改悪が続いています。これに消費税増税8兆円では、家計は壊されます。

10月からこう変わる

- 年金支給額1%、児童扶養手当0.7%減額
- 白濁オリーブグループ、ごま油の出荷価格を10%以上引き上げ
- 白濁など酒造大手の一部、清酒の出荷価格を2~7%引き上げ
- 明治など乳業大手、乳飲料出荷価格を1~4%引き上げ
- 輸入小麦の製粉会社などへの政府売り渡し価格が4.1%引き上げ
- 合成樹脂メーカー各社、原油由来の樹脂を値上げ

保険料

- 自動車保険料、平均1~2%程度引き上げ
- 小売り大手が中小の取引先に、商品納入価格への消費税増税分の上乗せを認めない「買いたたき」などを禁じる「消費税軽減対策特別措置法」が施行
- 小売店の店頭価格で消費税を含めた「総額表示」の義務付けを緩和、税抜き表示も容認
- 金融機関が少額投資非課税制度(NISA)口座の開設手続きを開始

裏面 介護認定の「軽度化」、お知らせ...など

## 定例法律相談会

10月7日(月)  
午後6時~8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。  
生活相談は、随時受け付けています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

消費増税を許せば街の形が変わる？  
区内商店街の存亡にも関わっていると思うのですが...

この一週間で最大の話題といえば、安倍首相が来年4月から消費税8%への増税を表明したことです。消費税の来年4月増税に反対がいまでも国民多数の声。商店など業者のみなさんにお話を聞くと「消費税増税では商売は続けられない」「価格に転嫁できないよ!」...。地域経済とコミュニティを担う商店街がどうなるのか、大変に心配です。3%・8兆円という庶民大増税です。これでくらしや



果たして増税に区内商店は耐えられるか...?





# この間の要支援・要介護の推移から 介護認定の軽度化がすすんでいるのでは

|      | 2006年 |       | 2007年 |       | 2008年 |       | 2009年 |       | 2010年 |       | 2011年 |       | 2012年 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 要支援1 | 600   | 8.6%  | 579   | 8.1%  | 605   | 8.2%  | 677   | 8.7%  | 809   | 10.4% | 895   | 11.2% | 1,146 | 13.9% |
| 要支援2 | 805   | 11.5% | 874   | 12.2% | 922   | 12.5% | 826   | 10.9% | 787   | 10.1% | 826   | 10.3% | 905   | 10.9% |
| 要介護1 | 1,371 | 19.6% | 1,255 | 17.6% | 1,324 | 18.0% | 1,449 | 18.7% | 1,524 | 19.5% | 1,687 | 21.0% | 1,720 | 20.8% |
| 要介護2 | 1,163 | 16.6% | 1,195 | 16.7% | 1,213 | 16.5% | 1,409 | 18.2% | 1,451 | 18.6% | 1,444 | 18.0% | 1,442 | 17.4% |
| 要介護3 | 1,180 | 16.9% | 1,305 | 18.3% | 1,378 | 18.7% | 1,385 | 17.9% | 1,205 | 15.4% | 1,127 | 14.1% | 1,077 | 13.0% |
| 要介護4 | 989   | 14.2% | 1,044 | 14.6% | 1,032 | 14.0% | 1,086 | 14.0% | 1,038 | 13.3% | 1,030 | 12.9% | 1,049 | 12.7% |
| 要介護5 | 883   | 12.6% | 883   | 12.4% | 886   | 11.7% | 906   | 11.7% | 997   | 12.8% | 1,006 | 12.6% | 931   | 11.3% |
| 合計   | 6,991 |       | 7,135 |       | 7,360 |       | 7,738 |       | 7,811 |       | 8,015 |       | 8,270 |       |

| 2011年と2012年の差 |       |
|---------------|-------|
| 要支援1          | + 251 |
| 要支援2          | + 79  |
| 要介護1          | + 33  |
| 要介護2          | - 2   |
| 要介護3          | - 50  |
| 要介護4          | + 19  |
| 要介護5          | - 79  |
| 合計            | + 255 |



介護保険改定で要支援を1・2にわけ、「新予防給付」を創設したのが2006年。この年から昨年度までの荒川区の要介護認定の推移（各年度3月31日）を見ると、要支援1の人数が倍近くに増え、比率も1・6倍になってきている。軽度と言われる要支援1、2と要介護1だけで2012年は45%を超えています。要介護3、4、5は認定者数はそれ程増え

ず、比率は減少しています。また、2011年と2012年の介護度別の人数を見ると要支援1、2、要介護1が特に増加。一番軽い要支援1の増え方が大変大きい。これをどう見るのか。2009年に要介護認定判定項目を「軽度」に誘導するような基準が導入されたことも影響しているかもしれません。また、荒川区は2011年後半から「要介護認定率を下げろ」という目標を持ちました。実際に状況が改善され比較的、元気な方が増え、本来にサービスが少なくても大丈夫ならば良いのですが。しかし介護給付の削減のために判定が低く抑えられた結果だとしたら、必要なサービスが削られることにつながります。介護関係者にお聞きすると、介護度が軽くなり「通所サービスが週2回から1回になった」「通所リハビリに行けなくなった」「ヘルパー訪問が減らされた」と言う声が聞かれます。

## 長寿慶祝の会の記念品は招待状がなくても受け取れます

区報 平成25年(2013年)10月1日

**長寿慶祝の会記念品を配付**  
9月16日開催予定の「長寿慶祝の会」は、台風の影響で中止しました。会の記念品を荒川区高齢者芸能大会において配付します。  
日時 10月22日(火) 正午～午後4時(無くなり次第終了)  
場所 サンパール荒川大ホール入

**お知らせ**  
持ち物 慶祝の会招待状の封筒  
\*原則として本人がお越し下さい  
\*代理の方が複数の方の封筒を持参した場合、配付は2個までです  
問合せ ▽高齢者福祉課  
区内線 2661  
▽荒川区社会福祉協議会  
TEL (3802) 3338

記念品は、必要数4400個購入しています。確かに残せばもったいないだけです。さつそく、区に再検討を求めました。担当課で検討、保険証など氏名、生年月日、住所などがわかるものを本人が持参すれば良いことに変更しました。

## 居所不明の子どもたち 早く状況を確認して

| 荒川区       |           |
|-----------|-----------|
| 4ヶ月健診未実施  | 1         |
| 就学時健診未実施  | 1 中国に出国確認 |
| 小学年令児居所不明 | 5         |
| 中学年令児居所不明 | 3         |

文部科学省の調査によると、1年以上所在不明の小中学生は全国で976人(2012年度)いる。2011年度の1191人より少し減少したが、依然として1000人近い。

荒川区でも現在でも住民票はあるが就学していないお子さんが8名いる。教育委員会・保健所・文部科学省の調査によると、1年以上所在不明の小中学生は全国で976人(2012年度)いる。2011年度の1191人より少し減少したが、依然として1000人近い。荒川区でも住民票はあるが就学していないお子さんが8名いる。教育委員会・保健所・子ども家庭支援センターが連携して調査を行うようになったが、やっと始まったばかりです。

居場所がつかめない状態の子どもの中には命の危険があるかもしれないということ念頭において対応する必要があります。

庁内はもちろん、関係機関(他自治体・児童相談所・警察・入国管理事務所など)と連携し確認のために総力をあげなければなりません。

相模原市教育委員会は2011年から独自に作ったチェックリストを元に、表札や電気メーター、生活感の有無などを確認し、曜日や時間を変えて何度も訪問しています。

### 小・中学生の居所不明児...全国で976人。

明らかになった事件  
大阪市北区で3才児と母親が衰弱死。横浜市磯子区で6才女子の遺体発見。松戸市 秦野市に移転、入学しておらず調査中だった。大阪府富田林市で9才男子不明...などなど

## さくら号の一日あたりの乗客数

さくら 1400人  
汐入さくら 1200人  
町屋さくら 416人

三河島駅を經由する町屋さくら号は昨年1月で341名が8月末で416名と少しづつ増えてはいますが、乗客目標の800~900には、まだまだです。ルートの再検討が必要との声もありますが、如何ですか。

荒川、南千住地域を走るさくら号は目標をクリアしています。